

## モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立愛川ふれあいの村  
 指定管理者 財団法人 神奈川県ふれあい教育振興協会  
 施設所管課 子ども教育支援課

(平成21年度 上半期)

## 管理運営状況総括

## 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月29日	適正に行われている。
5月	6月10日	6月26日	同上
6月	7月10日	7月29日	同上
7月	8月10日	8月28日	同上
8月	9月10日	9月28日	同上
9月	10月9日	10月29日	同上

## 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

## (1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る  B: 提案どおり  C: 提案を下回る

## (2) 実施状況等

## &lt;提案内容の概要&gt;

- ◇ 施設の維持修繕について、日常点検、定期的な安全点検を行い、破損等については、迅速な対応に努める。

## &lt;実施状況&gt;

- ◆ 日常点検、定期的な安全点検を行い、毎月1回の職員全体作業を実施して対応に当たっている。また、破損等については、迅速に対応できるように職員による確認連絡の体制強化を図り対応している。

## &lt;提案内容の概要&gt;

- ◇ 利用者のサービス向上に向けた、インターネット等による豊富な情報を提供する取り組みを行う。

## &lt;実施状況&gt;

- ◆ ホームページに主催事業の案内や事業実施後の様子などを掲示し情報提供を行っている。
- ◆ また、利用団体の活動に役立つ気象情報を提供するとともに、周辺施設のイベント情報なども併せて提供している。

## &lt;提案内容の概要&gt;

- ◇ 児童・生徒の体験活動に対する支援について、新たなプログラム開発に努める。

## &lt;実施状況&gt;

- ◆ 昨年度に新規プログラムとして開発した、「木ラリー」を本年度から実施した。村内の樹木に「樹木名札」を設置し、地図に示すポイントを回り、その札の番号を記入していくものであり、樹木を探していくことにより、自然への関心を向上させ、グループ内の交流を深める目的で実施した。多くの利用学校が児童・生徒の自然観察やグループ内の交流を深める目的で活用しており、評判も良好である。

## &lt;提案内容の概要&gt;

- ◇ 事故や災害に対する危機管理対策の充実強化と体制整備を一層進めるとともに、万一に備えた定期的な研修や訓練等を行う。

## &lt;実施状況&gt;

- ◆ 危機管理マニュアルの整備を行うとともに、職員を対象とした救急法の講習会や避難訓練などの総合防災訓練を利用団体の協力を得て実施している。

**3 収支状況**（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	153,082	150,015	3,067	153,082	0
上半期計 (a)	82,917	75,000	1,462 (1,409)	71,334	11,583
下半期計 (b)			( )		
4月	11,509	10,682	372 (314)	5,588	5,920
5月	11,986	10,676	207 (257)	9,995	1,991
6月	20,458	19,031	70 (58)	19,910	547
7月	13,160	11,939	67 (77)	12,920	240
8月	13,262	11,332	359 (390)	11,905	1,356
9月	12,540	11,337	385 (290)	11,014	1,525
合計 (a+b)	82,917	75,000	1,462	71,334	11,583

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

**収支状況に関する意見等**

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

下半期の利用者が少なくなる冬期に集中して修繕を行うための準備として財源確保をしていることが、収支残額がプラスになっている要因のひとつである。

**(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)**

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。



**6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況**

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	宿泊棟入口ドアのドアクローザーの故障により危険であった。	入口ドアを改修し、安全に使用できるようにした。
	施設が老朽化していて汚かった。	定期的実施している職員による清掃、点検において、清潔感等を維持できるよう努めている。
	トイレの臭気が強かったのが気になった。	トイレの臭気は、配管の老朽化等が原因の一つと考えられている。配管の改修には、予算の関係で対応ができていないが、臭気を軽減するため消臭剤の配置等を行っている。
職員対応	・ ・	
事業内容	・ ・	
その他	・ ・	

**7 事故や不祥事等の発生状況**

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

**8 随時モニタリングの実施状況**

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

## 9 上半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

<p>指定管理者</p>	<p>◇保健衛生について  インフルエンザが流行している中、主催事業「エコディスカバリーin丹沢」（参加者17名。6泊7日）ではインフルエンザ発症者が出たため、予定を1日繰り上げて終了した（発症者数10名&lt;内訳&gt;参加者5名、アルバイト・ボランティア2名、職員3名）。  施設としてもアルコール消毒液の設置やマスクの備蓄及び提供、手洗い・うがい等利用者への適切な周知と対応などを実施した。また、施設内での発症が疑わしい者や実際に発症が確認された者への対応を適切に行うことや滞在していた場所への消毒を怠らないことなどについて職員へ徹底した。  現在、主催事業や学校利用、一般利用での事前相談やキャンセルなどの対応を行っており、事務局本部及び保健所などとの連携を図りながら職員への指導の徹底を図り、インフルエンザの発生予防と発生した場合の適切な衛生管理を図りたい。</p> <p>◇安全安心の確保  安全点検の充実、巡回や指導対応を積極的に行い、不審者や危険箇所についての確認を職員のみならず食堂業者や警備・清掃業者等にも協力を求め、安全安心の確保に努め、上半期は大きな事件・事故もなく、運営することができたと考える。</p> <p>◇食品の安全管理  食堂業者と共同して食の安全確保に取り組むとともに、保健福祉事務所が主催した食品安全講習会に職員を派遣するなど食の安全管理体制の強化を図っている。</p>
<p>施設所管課</p>	<p>○ インフルエンザの流行や天候不良等により、学校利用や一般利用のキャンセルが相次いだにもかかわらず、前年同時期と比べ利用団体数及び利用者数は増加しており、今後期待したい。</p> <p>○ また、主催事業実施中にインフルエンザ発症者が出た際の対応（発症者の隔離、医療機関への連絡及び搬送、保護者への連絡、保健福祉事務所等への報告など）についても適切に行い、そのため発症者数を最小限度に止めることができたと考えている。</p> <p>○ 施設の大規模改修については対応が難しい部分があるが、引き続き所管課として関係室課に対し修繕要望(100万円以上の工事)をしていきたい。</p>